

Close up

「リベラルアーツで生きる情報メディアの学び」
国際文化学科 一戸信哉、松本淳

情報メディア・コースまるわかり
学びと出会いの詰まった大学生活がスタート

新任教員のごあいさつ/公務員・社会福祉士合格者の声
授業紹介⑮「教養スペシャルトピックスE」松本淳
敬和学園財務状況等のご報告





収録・配信の様子



毎回、学内外のゲストを招きます



YouTubeチャンネル「Keiwa Lunch」

アクティブラーニング紹介⑮ Keiwa Lunch (インターネット番組配信)

国際文化学科 情報メディア・コースの一戸ゼミを中心とした学生チームで、昼休みの時間を使って「Keiwa Lunch（敬和ランチ）」という番組を制作し、YouTubeを使って、インターネットでの動画ライブ配信をしています。番組では、学内外で活躍している学生や教職員をゲストに、キャンパスライフを紹介しています。番組の司会進行や機材管理をはじめ、企画立案やゲストとの交渉も、すべて学生たちが行っています。

<配信チャンネル>
YouTube「Keiwa Lunch」

誌面案内 Magazine Guide

Close up	1
「リベラルアーツで生きる情報メディアの学び」 国際文化学科 一戸信哉、松本淳	
学びと出会いの詰まった大学生活がスタート.....	6
新任教員のごあいさつ	8
石坂誠、堀野巨求、松本淳、フィリップ・ウィン	
公務員 合格者の声	8
社会福祉士国家試験 合格者の声	9
2019年度後援会総会のご報告	10
授業紹介⑮	
「教養スペシャルトピックスE」 松本淳	11
同窓会リレー・エッセイ⑮.....	12
「多種多様な価値観を受け入れる心」 滝沢亮（18期生）	
敬和学園財務状況等のご報告.....	14

(表紙写真)
ドローンを使って映像作品の制作に取り組む学生たち（一戸ゼミ）

リベラルアーツで生きる情報メディアの学び

●情報メディア・コースとは

二〇一九年四月、国際文化学科に新たに、情報メディア・コースが開設されました。情報発信を中心に「メディア」に関する実践力や発信力を身につけるコースです。敬和学園大学が取り組んできた、地域でのアクティブラーニング活動が、さらに充実したコースとなっています。

●情報メディア・コースで学べること

情報メディア・コースでは、敬和学園大学ならではの人文社会科学を中心にしたカリキュラムに、実践力を高めるメディア系諸科目を加えることで、地域社会の諸課題に対応できる分析力や発信力を鍛えます。

情報メディア・コースの基幹科目としては、「情報メディア論」「デジタルジャーナリズム論」「デジタルコンテンツ概論」「コンテンツプロデュース論」「時事問題研究」を開講します。学生の多くは現代のメディア環境の変化を感覚的に理解していますが、これらの科目を通じ、あらためて体系的に学びます。同時に「時事問題研究」で、さまざまなニュースの「今さら聞けない」背景を学び、自ら深掘りできる力を養います。

選択科目はさらに幅広く、「Web技術」「情報セキュリティ」「スマートフォンアプリ開発」などITの実習科目、デ

ジタルコンテンツの制作やマネジメントに関する科目、映像制作やアナウンス・ナレーション、コピーライティングに関する実践科目などを開講予定です。

●インターネットの普及により増した、コンテンツの重要性

情報メディア・コースのカリキュラムは、「コンテンツ」に関する学びが充実しています。コンテンツとは直訳すると「中身」を意味します。メディアが情報を運ぶ「器」だとすれば、コンテンツはその上に盛られた「料理」だと学生には喩え話をしたりします。

現代はインターネットによる情報流通のオープン化、グローバル化により、メディアとコンテンツが変化の荒波に揉まれている時代です。誰もが世界に情報を発信することを可能にしたインターネットは、場所（どこで）という制約を飛躍的に小さくしました。一方で、情報を発信する際、「いつ、誰が、何を、どのように」発信するかといった場所以外の要件は、これまで以上にその内容の良し悪しが問われるようになっていきます。残念ながら、この新しい情報メディアは、時に「炎上」を招いたり、社会の分断をより鮮明にすることも明らかになってきているのです。

Close up

国際文化学科
松本淳

国際文化学科
一戸信哉

●リベラルアーツと情報メディア

どのようなコンテンツを発信すれば、社会によりよい影響を与え、自らが望むような結果を得られるのか？その鍵を握るのは幅広い知識や知見に裏付けられた基礎教養、すなわちリベラルアーツにあります。例えば身近なところでは、学生が部活やサークルをソーシャルメディアで日々発信することも、読み手を意識しながら適切に積み上げることで、立派なコンテンツになります。産業規模でいえば、多くの日本のアニメやマンガは文化や習慣の違いを障壁と捉えるのではなく、そこに魅力を見だし紹介することで、世界に支持を広げることができま

す。このようにコンテンツとリベラルアーツは密接な関係にあります。自分は「何を」発信したいのか、というシーズ（根



ゲストスピーカーによるコンテンツを学ぶ特別講義
(東映アニメーション：野口光一氏)

幹)を見いだした上で、大学でコンテンツの概念・理論と、企画からプロデューサーといった成立過程を知り、アクティブラーニングを通じて実践することは、リベラルアーツの体得そのものであるといえます。

●地域の歴史や文化を映像化する

教室で学んだことを実践するアクティブラーニングとして、歴史、文化、政治経済などのリベラルアーツ諸科目で学んだ内容（インプット）に基づいて、これを「発信」する活動（アウトプット）に取り組んでいます。

その一つとして、新潟県内の「地域」を取材し、コンテンツ（映像作品）にして発表する活動があります。

学生たちは取材を通じて、県内各地のさまざまな事象を取材して映像で表現し、発信しています。地域での取材活動は、持続可能な新潟県をつくる「地域貢献活動」でもあります。地元地域を取材することは、普段授業の合間を縫って取材に行けるというメリットに加え、情報過多の中で地域に関する知識や関心を持つ学生が減っているという現状を変えることにもつながります。

映像制作を学ぶ集中講義では、学生たちが協力して新発田市・聖籠町周辺を取材し、四日間で作品をつくり上げます。新発田市・聖籠町の観光地や商店街を紹介するオーソドックスな作品だけでなく、地域の皆さまに協力していただき、



学生が地域を取材し、映像作品をつくり上げます
「見附と満蒙開拓団」

「新発田川」「郊外に設置された天然プール」「公設市場」「から寿司」など、授業を受けるまで全く知らなかった新発田市・聖籠町を取り上げた作品も多いです。通年の活動の中では、新発田市・聖籠町に限らず新潟県内各地で、さまざまな事象の取材を行っています。新潟県県民生活・環境部 環境対策課との協力企画として、新潟県内の「名水」を取材し映像化したものは、新潟県の公式YouTubeで公開されています。

●情報メディアが地域課題を解決する

見附市で満蒙開拓団について取材した「見附と満蒙開拓団」は、新発田市・見附市での上映会がマスコミで紹介されたほか、東京・新宿の平和祈念資料館でも上映されました。このほか、長岡市山古



学生がファシリテーターとなった、
高校生向けネットトラブル・ワークショップ

志で「錦鯉」を取材した作品、加茂市で発達障がいを持ったアーティストの活動を取材した作品が、新潟県自作映像・視聴覚教材コンクールで入賞しています。いずれの作品も、学生が制作過程の中で、地域の事象とその背景を一から学んで作品化したものですが、発表してみる と本人の予想を超えた反響がありました。こうしたプロセスを通じて、自ら学んだ成果をまとめ、「発信」する意義を理解します。さらにいえば、正確で誤解を生まない表現について、学生たちは映像制作を通じて学んでいます。

情報メディアを学ぶ中で学生自身の関心が高まり、地域課題の解決につながる意識が育まれます。時には彼らの発信する情報が、思わぬ形で波及力を持つこともあります。

数年前から高校などでの情報リテラシーに関するワークショップ活動を行っています。いじめなど学校内でのさまざまなトラブルがインターネット上で展開するようになり、時に生徒の自殺などの深刻な状況を招いています。大学生がファシリテーターとなったワークショップ活動は、すぐにこの状況を変えられるわけではないのですが、高校生と大学生が真剣に問題を考える機会をつくり、課題の解決につながる努力を続けています。

●資格取得と就職

情報メディア・コースでは、IT関連の資格が取得できます。同時に、メディア環境の変化、時事問題、コンテンツマネジメントの理解を深め、幅広いメディア実践を行い、発信力を身につけます。これまでのリベラルアーツ教育に、専門的な情報メディア教育が加わることにより、学生たちのメディア関連企業への就職をサポートします。

情報メディア・コースでは、若者が新潟についての理解やメディアについての理解を深め、分析・発信する経験をすることができます。すでに、新聞、テレビ、ラジオ、出版などの地域メディアで活躍する卒業生が多数います。さらに、情報メディア・コースの学生の発信力を生かせる企業・団体との関係を強め、こうした企業に多くの卒業生を送り出すことにより、地域経済の発展、地域課題の解決につなげていきたいと考えています。

Profile

松本淳 准教授 プロフィール



〈研究テーマ〉
コンテンツ産業論

ITやアニメなどのコンテンツの制作・開発手法の変化、ビジネスのトレンドや社会への影響について研究しています。「アニメ産業論」では、アニメ・ゲームなどと地域・経済の関わりを学びます。

Profile

一戸信哉 教授 プロフィール



〈研究テーマ〉
情報メディア論

情報メディア環境の急速な変化を理解し、社会変化の波に柔軟に対処できる学びをすすめています。情報メディア・コースでは、ソーシャルメディア社会の未来を、発信しながら考えていきます。

情報メディア・コース まるわかり

資格取得

【1年次】

マイクロソフトオフィス
スペシャリスト
(MS-Word、MS-Excel)

【2年次】

IT パスポート

※上記資格は単位認定科目に
設定、3年次以降はより高
度な資格取得にチャレンジ
します。

インターンシップ

新潟放送 (BSN テレビ)、
エフエムラジオ新潟、
エフエムしばた、
新潟日报社、
島津印刷 ほか多数。

【社会で活躍する先輩たち】

株式会社
新潟日报社



大須賀 悠さん
国際文化学科
2006年3月卒業
写真記者

株式会社
新潟テレビ21



高井 瑛子さん
英語文化コミュニケーション学科
2013年3月卒業
アナウンサー

株式会社
ドワンゴ



古川 海斗さん
英語文化コミュニケーション学科
2015年3月卒業
プロデューサー

株式会社
エフエムしばた



若山 真生さん
国際文化学科
2018年3月卒業
パーソナリティー

【その他の主な就職先】

コネクシオ株式会社、株式会社テレサイト、株式会社SPGホール
マン、株式会社マルゴシステム、株式会社ビット・エイ、株式会
社RayArc、株式会社ヒューマンパワー、歪馬影社有限公司、ア
イ・ティー・エックス株式会社、株式会社つばさエンタテインメ
ント、株式会社ram、さくらインターネット株式会社、富士映像
企画 など

【就職支援体制】

在学中の学びや活動、本人の希望
など、それぞれの状況に合わせて
きめ細やかな就職・キャリア支援
を行っています。



3年次

メディア系諸科目で実践力を高め、
課題に対応できる分析力、発信力を鍛える

キュリティ／メディア産業論／アニメ文化経済論／
／スマートフォンアプリ開発／アナウンス・ナレーション実習／
告コミュニケーション論 など

インターンシップ実践 (映像作品・フリーペーパー制作、ネットトラブル・ワークショップ、ガタフェス参加など)

より高度な資格取得にチャレンジ

インターンシップ

4年次

メディア・IT 業界だけでなく、
官公庁や民間企業への就職もサポート

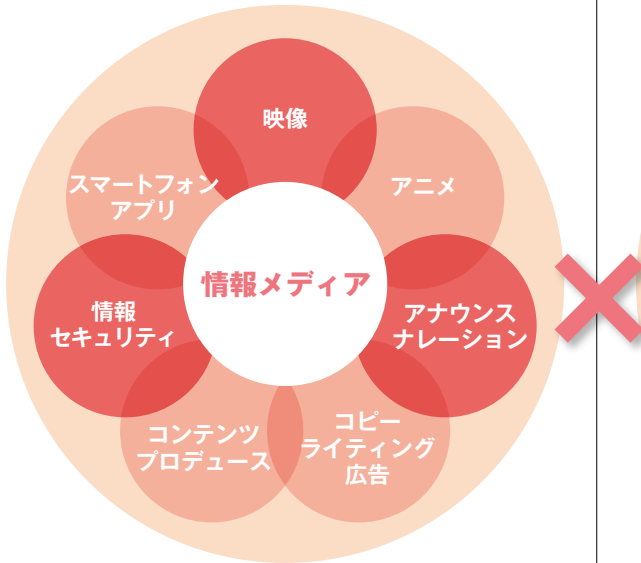
マンツーマン指導
卒業論文

就職活動

→くわしくは Close up (P1 ~ 3) で紹介

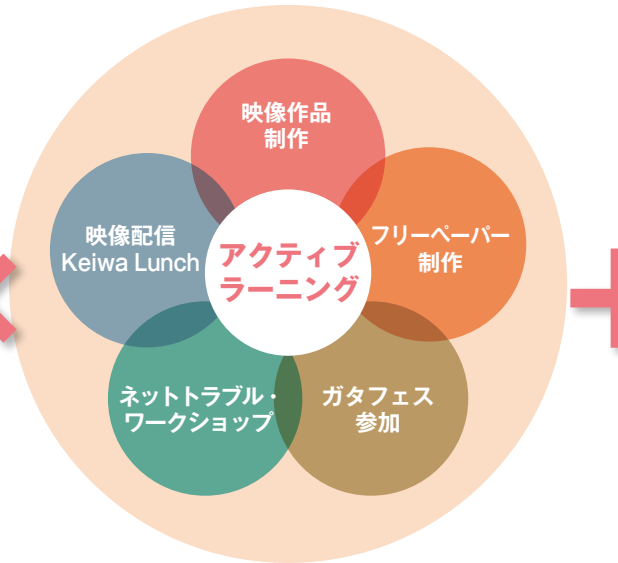
【教室での学び】

情報メディアに関する諸領域を学び、ウェブや映像などの「発信力」を磨きます。



【社会での実践】

「発信力」を生かした実践活動により、地域社会の課題を解決する力を養います。



多彩なゲストスピーカー（2019年度登壇者）

- 井上直樹氏 (Google News Lab: フェロー)
- 野口光一氏 (東映アニメーション: プロデューサー)
- 福原慶匡氏 (つばさプラス: 代表取締役、プロデューサー)
- 古川海斗氏 (ドワンゴ: アニソン事業 プロデューサー)



これまで制作した映像作品リスト

- 「見附と満蒙開拓団」
- 「世界へ届く錦鯉～山古志の養鯉業～」
- 「自由な働き方」
- 「新発田川の上で～公設鮮魚市場の人々～」
- 「新発田川カメラ下り」
- 「寺町修業～社会人への道～」
- 「ほんぼり～新発田の夏を灯す～」
- 「月岡温泉～日本の温泉文化を体験～」



情報メディア・コース カリキュラム	1年次	2年次
	現代メディアについて体系的に学ぶ	メディア 地域社会の諸課題
人文社会科学を中心としたカリキュラムに加えて、実践的なメディア系科目を用意	情報メディア論 デジタルジャーナリズム論 など	コンテンツプロデュース論／情報セ デジタルコンテンツ制作／映像制作 コピーライティング研究／広報・広 情報メディア演習・アクティブラ
	マイクロソフトオフィススペシャリスト (Word・Excel)	ITパスポート インターンシップ

新入生同士の友情と親睦を深める

二〇一九年度の入学式が四月四日に挙行されました。讚美歌斉唱、下田尾治郎宗教部長による祈祷のあと、新入生一人ひとりの名前が読み上げられ、山田耕太学長が新入生の入学許可を宣言しました。山田学長から新入生に対し、「人生の土台を築いていくのに大切な大学生活四年間を、受け身の姿勢ではなく、求めよ、探せ、門を叩けという主体的で積極的な姿勢で学んで欲しい。そうすれば、大学は面白いところになります。」とのメッセージが送られました。

四月一二日には、小河陽 前関東学院院長をお招きし、「A時代のリベラルアーツ」と題して新入生歓迎公開学術講演会を開催しました。新入生たちは、本学の教育基盤であるリベラルアーツについての理解を深め、変化の激しいこれからの時代を生きる力を学んでいくことへの心構えをすることができました。



入学式での入学許可宣言



新入生代表による宣誓



入学式会場にて、友人たちと



学生団体紹介で新入生を勧誘



新入生歓迎公開学術講演会

大学生として自分自身で行動すること

英語文化コミュニケーション学科一年

河野 裕夏



入学してから数か月が経ち、学生生活にも徐々に慣れてきました。しかし、「高校生」から「大学生」へと気持ちの切り替えがまだ完全にはできず、大学生活への期待や今後の抱負を聞かれても言葉に詰まってしまいます。私は、大学進学に明確な目的があっ

たわけではなく、ただ漠然と「英語をもっと勉強したい。英語に関わる職に就きたい」という期待から敬和学園大学に入学を決めました。

「ただもやもやした気持ちがあることは確かです。しかし、すでに大学に入学し、大学生という身分であるという事実があります。周りに期待するのはなく、「入学前に抱いていた期待を、自分自身で実現する」ために行動しなくてはいけないと思っていますし、これが私の今後の目標になります。

手始めに、できる範囲で資格取得に向けて努力し、活動の幅を広げていきます。そしてこの目標が自分の成長につながるばいいなと思います。

学びと出会いの詰まった大学生活がスタート



お花見ランチでの交流



オリエンテーションでの楽しい食事



ゼミ単位で行われたクラス別集会



仲間との親睦を深めるレクリエーション



2019年度入学記念樹（ユリノキ）

四月一八日、一九日には、新入生オリエンテーションが地元新発田市内にある月岡温泉で行われました。お友だちビンゴやクラス別集会など、学生同士や教職員とが協力、団結して活動に取り組みました。また、温泉でのおいしい食事とゆつたりとした時間を共に過ごすことで、参加する学生同士や教職員とが、友情や親睦を深めるよい機会となりました。

四月二六日のチャペル・アッセンブリ・アワーでは、入学記念樹植樹礼拝が行われました。残念ながら、悪天候のため、植樹式は屋内で行われましたが、参加者それぞれがキャンパス内の美しい木々に目を留め、その成長と自らの成長に重ね合わせて祈りました。

新入生の皆さんが、大きく成長していきけるよう、共に四年間の歩みをすすめていきたいと思えます。

生活を彩る敬和の魅力

国際文化学科一年

伊藤 祐史



入学前は不安しかなく、何に対してもやる気がありませんでした。というのも、敬和学園大学は自分の第一希望の大学ではなかったからです。しかし、実際に入学してみるとそんな自分の心境がとても明るいものに変わっていききました。そのきっかけは二つあります。一つ目は友人関係です。まず、学生

寮で隣部屋の新入生と仲よくなれました。その後も素敵な友人との出会いがあり、私の学生生活が色づき、毎日が楽しいものになっていきました。

二つ目は大学の授業です。大学の九〇分授業に不安がありましたが、いざ授業に出てみると、先生がおもしろく九〇分はあっという間でした。先生だけでなく授業の形態や内容がおもしろく、毎日がとても充実しています。

敬和での生活は、自分の毎日を彩るようなことであふれています。その全てに触れることは難しいかも知れませんが、できる限り積極的に活動し、自分自身を磨いていきたいです。

人生を支える学生時代の経験



共生社会学科
石坂 誠

私は、大学三・四年生のゼミで筑豊や秋田の貧困者支援の調査を行い、福祉事務所のケースワーカーの組織である公的扶助研究会に参加しました。また、医療ソーシャルワーカー志望だったため、感銘を受けた『村で病氣とたたかう』の著者、若月俊一先生の佐久総合病院で医療ソーシャルワーク実習を行いました。

そして現在、貧困問題、ソーシャルワーク、協同組合の三つが私の研究の根幹となっています。学生時代のゼミ活動と実習体験が現在の研究へとつながっているというのは幸せなことです。学生時代の経験は、社会人としての生活を積み重ねる中で、人生を支えるものになる可能性があります。一つでもいいので、「学生時代にこれを学んだ」「こういう経験ができてよかった」というものを心に刻むお手伝いができればと思っています。

さて、ここ新潟では、法制化が間近といわれている労働者協同組合とその関連組織が、貧困・社会的排除に対峙する事業を展開しています。また、公的扶助研究会も活発に活動しており、私にとつては大変興味深く楽しみなフィールドです。教育・研究・地域貢献で少しでもお役に立てれば幸いです。

インベシジョンを生み出すキャンパス



共生社会学科
堀野 巨求

はじめまして。四月より共生社会学科に着任しました。私はこれまでの約一六年間大阪でNPOを支援するためのNPOで働いてきました。そこで延べ四八〇〇人以上の人と出会い、多くのソーシャルビジネスやNPOの設立・運営に携わりました。その経験を通してまちづくりや地域をテーマにした講義を担当しています。私の専門分野は「中間支援組織」と呼ばれる組織の研究です。これはいるいるな組織をつないでいます。これから社会課題の解決を図るには、多くの組織の協働が必要不可欠です。その中心になるのが中間支援組織なのです。そして欧米ではその役割を大学が担っています。学生、企業、地域、行政といったあらゆるセクターの結節点になり、多くのイノベーションを大学が創り出しているのです。私は敬和学園大学が多くの人や組織を紡ぎ、イノベーションを生み出す可能性があると感じています。実際キャンパス内でもその息吹を垣間見ることができます。この可能性を広げつつ、さらなる大学の発展に貢献することが私の使命と考えています。いまだ力至らぬ点が多々ありますが、皆さまからご指導を心よりお願い申し上げます。

公務員、現役で五名合格

公務員試験対策とその成果

敬和学園大学では、公務員を目指す学生に対し、市役所等でのインターンシップを勧めると共に、筆記試験対策として公務員試験対策講座、専任教員による勉強会、さらに筆記試験合格者に対しては、集団討論、個人面接、集団面接の練習を行い、試験合格をサポートしています。その結果、二〇一九年度は、地元の新発田市をはじめ、五名の公務員現役合格者を輩出できました。今後も地域で必要とされる人材の育成に努めていきます。(就職委員会)

新発田市役所採用



英語文化コミュニケーション学科卒業
植木 一真

私は皆さまから全力のサポートをしていただいたお陰で公務員になれました。富川先生主催の「勉強会」では、学年を超えて同じ志を持つ仲間と切磋琢磨できました。キャリアサポート課には何度も通い、面接練習や添削に付き合ってもらいました。また、激励の言葉をくださる教職員の皆さんの存在も大変ありがたかったです。今思えば、周りに恵まれていたなあと強く実感しています。

情報メディアのよりよい活用を目指して



国際文化学科
松本 淳

はじめまして、四月より国際文化学科に着任しました。今年から新設された情報メディア・コースの各講義を中心に担当しています。

私は一九九六年に同志社大学を中退したのちソフトウェア開発、ネットサービス運営、出版、広告と情報コンテンツなどさまざまな実務を経験してきました。その間、インターネットの進化は激しい勢いで進み、私が身を置いた企業でも変化への対応を迫られていました。私はその変化の本質に近づきたいと考え、仕事を続けながら社会人大学院生として学ぶという道を選択し、デジタルハリウッド大学院・東京大学学際情報学府で修士号を得ながら、この約一〇年間は研究者としても活動を続けてきました。

産業革命以来のインパクトを与えたともしられるインターネットを巡る変化は今なお続いています。今、敬和学園大学で学ぶ学生の皆さんも、スマートフォンを持ち、ソーシャルメディアでの情報発信を好む、好まざるに関わらず行っていくこととなります。実務で得た知見と、研究で得た学びを学生にも共有し、よりよい利活用のあり方を共に形づくっていききたいと考えています。

敬和ファミリーの一員として



人文学部
フィリップ・ウイン

はじめまして、敬和学園大学の一員になれて幸せです。フィルと呼んでください。私はアメリカのミネソタ州の出身です。秋田県の国際教養大学専門職大学院を卒業し、その後、小学校や中学校を含むさまざまな学校で働いてきました。

私は自分が教育の分野で働くとは思っていませんでした。しかし、日本に来て英語を教える機会があり、教育現場がとても楽しいと思えるようになりました。今、毎日授業で教える時はワクワクしています。

敬和に来る前は関川村で教えていました。関川村はたくさんの方々の貴重な教訓を学んだ特別な場所です。関川村には「関川プライド」という言葉があります。私は、それが「家族の一員になること」を意味するのだと理解しています。私は今、学生のことを自分の家族のように思っています。学生が善く、賢く、そして勤勉な人間に成長するために、私ができることを精いっぱい努力していきます。

授業では、英語という言語だけでなく、「グローバル・ライフスタイル」の意味を教えています。皆さん、一緒に学びましょう！

社会福祉士合格率三三・三三%！！

社会福祉士国家試験対策とその成果

敬和学園大学の社会福祉士国家試験受験資格課程では、授業を通じて社会福祉の理論を学び、相談援助演習により、その実践方法を身につけ、相談援助実習により、それらの統合を図ります。学生・教員が一体となって対策講座や合宿を行い、第三一回社会福祉士国家試験では、現役で四名が合格（合格率三三・三三%）しました。

（共生社会学科）

社会福祉士合格



共生社会学科卒業
島倉 朋生

三年生の寒い冬の時期、就職活動やゼミ活動に苦心している最中、ゼミの趙先生の後押しで、社会福祉士を目指して本格的な試験勉強を始めました。

試験当日までは、信頼する友人の一人と一緒に、ほぼ毎日、遅くまで大学に残って勉強を続けました。私が目標を見失わずに勉強に専念できたのは、一緒に過ごした友人と指導していたいた先生方のおかげです。

この資格の取得で、私は大きな自信を持つことができました。私の背中を押してくださった先生方と、信頼する友人たちに感謝します。

二〇一九年度後援会総会の報告

四月四日、入学式終了後、「二〇一九年度後援会総会」を開催しました。顧問の山田耕太学長よりごあいさつをいただいた後、議事に入りました。小竹事務局長より二〇一八年度決算報告、次に大平理事から二〇一九年度事業計画ならびに予算(案)を説明させていただきました。承認と同時に新役員を選出しました。今年度も後援会では、山田学長をはじめ教職員の方々と、日ごろの学生たちの様子や保護者からの要望等をうかがいながら、学生の活動の補助等に加え、オープンキャンパス、入学予定者対象「入学前スクーリング」、一年生対象「就職ガイダンス」、

就職に向けた三年生保護者対象「懇談会」、一・二年生保護者対象「懇談会」を開催します。また、企業関係者を招き、敬和教養の方針と理解を深めていただくための「企業懇談会」、企業を学内にお招きする「学内合同企業説明会」、「内定者向けセミナー」など、キャリアサポート課、就職委員会の教職員の皆さまと共に、就職に向け日々勉学に励んでいる学生を支援し、二〇一九年度も就職率一〇〇%を目標に努力していきます。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひします。

(後援会長 五十嵐)

単位：円

●収入の部

科目	2018年度予算	2018年度決算	2019年度予算
後援会費	23,760,000	22,980,000	23,120,000
寄付金	10,000	40,000	10,000
雑収入	1,000	24	1,000
学生団体より戻入れ金	200,000	585,533	200,000
収入小計	23,971,000	23,605,557	23,331,000
前年度繰越	3,590,367	3,590,367	7,265,686
収入の部合計	27,561,367	27,195,924	30,596,686

単位：円

●支出の部

科目	2018年度予算	2018年度決算	2019年度予算
事業活動費	6,100,000	4,208,579	6,050,000
会議費	200,000	135,880	200,000
事務費	30,000	30,000	30,000
通信費	2,060,000	1,571,400	2,030,000
印刷製本費	1,596,000	1,228,068	1,150,000
手数料	10,000	3,672	10,000
学生クラブ補助費	3,000,000	3,000,000	3,300,000
学生開放施設光熱費補助	700,000	700,000	700,000
学園祭補助費	3,000,000	3,000,000	3,300,000
体育施設設備費	4,757,625	4,757,625	9,757,625
その他の施設設備補助費	58,400	36,500	40,000
旅費交通費	100,000	87,000	100,000
雑費	300,000	171,514	300,000
予備費	5,649,342	1,000,000	2,629,061
部室棟修繕費積立金(特別会計)	0	0	1,000,000
支出小計	27,561,367	19,930,238	30,596,686
次年度繰越金	0	7,265,686	0
支出の部合計	27,561,367	27,195,924	30,596,686

二五周年記念募金者ご芳名

(二〇一九年三月二日現在、敬称略)

〈一般〉

長谷川稔、佐藤愛子、
日本基督教団新潟信濃町教会、
日本基督教団佐渡教会

〈卒業生・在学生・保護者〉

近伸之(二)、垣内駿(二九)、
清水明次(二四)

〈学園関係〉

金山愛子、大澤秀夫、
下田尾治郎、鈴木麻由

(一)内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからの記念募金は、学生寮や奨学金などに活用させていただきます。

一般寄付者ご芳名

(二〇一九年三月二日現在、敬称略)

〈一般〉

安藤真知子、茅原明子、築井孝浩
遠藤木綿子、後藤盛子、本間政一、
飯嶋ヨシ子、五十嵐みちよ、
岩村朋子、菅野昭洋、小林信子、
栗原潤一、宮下要一郎、中川雅美、
中俣正美、南波正夫、小柳清、
斎川とし子、佐々木克治、佐藤義一、
菅百合子、高木由美子

授業紹介⑮ 「教養スペシャルトピックスE」 担当：松本淳

デジタル化がすすむ社会で役立つ知恵を身につける

「教養スペシャルトピックスE」は二〇二〇年度より「デジタルコンテンツ概論」として情報メディア・コースで必修となる科目を、今年度より先行して開講しているものです。ゲームやアニメ、電子書籍など、学生も身近に接しているデジタルコンテンツがどのように生まれ、社会で受け入れられているのかを学ぶものです。その領域は企画や事業計画の立て方といった実践的なものから、著作権や文化論まで幅広いもので、コンテンツビジネスの最前線で活躍されるゲストもお招きします。ここで身につけた知識や知恵、そしてネットワークは、あらゆる領域でデジタル化が進むこの社会に出るから、必ず役に立つものです。



デジタルコンテンツについて説明する松本先生



国際文化学科四年
金澤 優樹

この授業では、コンテンツ産業の構造と変化を学び、新しいコンテンツ・プロデュースのあり方を考えます。私はアニメが好きですが、アニメをこのような視点で考えたことはなかったので、毎回の授業内容がとても興味深いです。

コンテンツ産業とはコンテンツ、すなわち文書、音声、映像、ゲームなどの情報の内容に関する産業のことで、近年ではコンテンツ消費はパッケージからネットワークへ変化してきているということを知りました。いわれてみれば確かにと思うようなことなのですが、これまで学術的に捉えたことがなかったので、新しい視点からものごとを考えることが新鮮で、とても勉強になります。

今年の入学から情報メディア・コースが新設されることを聞き、四年生の私は受講することができないと悔しく思っていたのですが、このような形で受講の機会ができてとてもうれしいです。好きなアニメに関連することを学べ、しかも有名なプロデューサーの方々からの特別講義もあり、毎回の授業がとても楽しみです。

田坂ゆたかご家族、 寺田和子、
刀禰堯介、 和田功、 山野辺邦雄、

日本基督教団新井教会、

日本基督教団東中通教会、
日本基督教団東中通教会婦人会、
一般社団法人IBS社団、

京都丸太町教会シオン会、
日本基督教団見附教会、

日本基督教団新潟地区教師会、
日本基督教団新潟教会婦人会壮年会、
新潟YWCA、

日本基督教団新津教会、
日本基督教団三条教会、

日本同盟基督教団新発田キリスト教会、
日本基督教団新発田教会、

日本基督教団新発田教会 新保能宏、
日本基督教団矢吹教会

〈卒業生・在学生・保護者〉

近伸之 (一)(二)、和唐幸江 (一)(二)、
根本栄一 (四)、吉野孝子 (一四)、
垣内駿 (一九)、長谷川達也 (二二)、
佐藤雅輝 (二二)、佐藤周 (二四)、
小池晶子 (二五)、鈴木精一郎 (二八)、
鈴木潔 (二八)

〈学園関係〉

藤田富士夫、北垣宗治、久島公夫、
後援会 (二)、オレンジ会 (二)

(一) 内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからのご寄付は、学生生活の
充実に活用させていただきます。

〈郵便振替口座〉

〇〇六三〇・九・一九八九六

敬和学園大学

多種多様な価値観を受け入れる心



二〇二一年度卒業
滝沢 亮

学生の時は、KIVという国際ボランティアサークルに所属していました。KIVとは *Keigai for Humanity* というNPO団体に賛同し、世界中の支援を必要とする人々と共に住居の改築や建築を行うサークルです。ボランティアに興味があり、また英語が好きで海外にも興味があったので積極的に活動しました。また、東日本大震災復興支援ボランティアや、小・中学生を対象に世界の諸問題を伝える「国際交流インストラクター」に参加しました。

こういった活動の中で、本当に多くの方と学年や年齢問わず交流を持つことができ、さまざまな価値観や考え方に触れることができました。日本に住む私たちから見たら決して満足な住居に住むことができないタイの子供たちが元気に遊び回る姿、ご自分の辛い体験を語り津波の恐ろしさを私たちに勇氣を持ってお話くださる姿、世界中で起きている貧困や飢餓について真剣に学ぼうとする子供たちの姿、これらは教室にいただけでは絶対に目にできないもので、私の価値観の形成に大きく影響を与えてくれました。

今、私は冠婚葬祭のアークベルに就職し、入社以来葬祭業に従事しています。そこでもさまざまなお客さまと接しています。地域性やそれぞれの考え方が合ったり、同じ葬儀の形は二つとありませんが、大切な方を亡くされ悔いのない見送りをしたいというご家族の思いは共通だと私は思っています。今まで前例がない、自分自身が考えたこともない考え方をずるお客さまとお会いしても、それを一度受け入れ、何が最良なのかを一緒に考えることを大切にしています。そう思えるのも、大学時代、多種多様な価値観や考え方に触れることができたからだと思います。これからもご遺族や亡くなられた方にとってよいお時間を過ごしていただけるよう提案力を磨いていきたいです。



多様な価値観を受け入れ、お客さまとよい時間を共有

学事予告

◆六月◆

- 一五日 スポーツ大会
- 二三日 オープンキャンパス②
- 二四日 創立記念日
- 二六日 高校教員対象進学説明会

◆七月◆

- 一三日 オープンキャンパス③
- 二七日 三年生保護者との就職懇談会
- 二九日 前期講義終了
- 三〇日 前期末試験（八月五日まで）

◆八月◆

- 三日 オープンキャンパス④
- 六日 夏期休暇（九月一八日まで）
- 前期集中講義（一〇日まで）
- 教員免許状更新講習（八日まで）
- 七日 A〇入学試験（一期）面談日①
- 二二日 前期卒業対象者向追試験（二三日まで）
- 二四日 A〇入学試験（二期）面談日②
- 二六日 前期卒業対象者向再試験（二七日まで）
- 二八日 前期追試験（三〇日まで）

◆九月◆

- 一八日 前期卒業式
 - 一九日 秋季入学式
 - 二〇日 後期履修相談日
 - 二一日 後期講義開始
 - 履修登録期間（二七日まで）
 - 二二日 中高生向け英検対策集中講座②
 - 二三日 A〇入学試験（二期）面談日①
 - 二九日 A〇入学試験（二期）面談日②
- ◆十月◆
- 四日 ウィークデー・オープンキャンパス
 - 五日 学費後期納入最終日
 - 二四日 ふれあいバラエティ
 - 二六日 敬和祭（二七日まで）
 - 大学紹介&進学相談会（二七日まで）
- ◆十一月◆
- 二一日 相談援助実習②（二三日まで）
 - ファイルド・トレーニング（二三日まで）
 - 二三日 企業との就職懇談会
 - 二六日 推薦入学試験（一期）
 - 二二日 二年生保護者との懇談会
 - 二九日 クリスマスツリー点灯式



12 December

- 1 大学高校合同クリスマス研修会 (SD 研修会、敬和学園高校) 教授会
- 5 チャペル・アッセンブリ・アワー②
- 7 説教 藤野豊 教授「すべてのいのちが尊ばれる世を！」
講話 江口歩 ナマエインターテイメント代表取締役「君に届け」
- 8 第1回入学前スクーリング
「大学は面白いところ」(学生 84 名、保護者 14 名)
聖籠町キッズカレッジ (英語教室) ② (11 名)
ヒプリオバトル (イクネスしばた)
上越教育大学との連携協定調印式
- 11 チャペル・アッセンブリ・アワー②
- 14 説教 下田尾治郎 宗教部長「人は独りではない」
クリスマスコンサート ミュージック・ベル・サークル、Jazz Quest
- 15 AO 入学試験 (3 期) 面談日①
センター試験プレテスト (~ 16 日)
- 18 留学生を支える会奨学金贈呈式
- 21 チャペル・アッセンブリ・アワー②
クリスマス燭火礼拝 (写真①)
説教 山田耕太 学長「天には栄光、地には平和」
キリスト教音楽受講者によるコーラス KEIWA Choir
キャロリング
- 22 講義終了
- 23 冬期休暇 (~ 1 月 3 日)
- 26 AO 入学試験 (3 期) 面談日②
- 29 冬期特別休業 (~ 1 月 3 日)



1 January

- 4 創立記念日振替休日
- 5 講義再開
- 9 教授会
- 10 卒業論文提出締切日
- 11 AO 入学試験 (3 期) 合格発表
チャペル・アッセンブリ・アワー②
- 14 説教 金山愛子 教授「共に生きる」
講話 ボランティア活動報告会
熊本地震調査報告、西日本豪雨支援活動報告、
ゼミボランティア体験報告、学生 HOPE 活動紹介
- 18 チャペル・アッセンブリ・アワー②
説教 加藤久孝 日本キリスト教団新潟愛泉伝道所牧師
「復活のあかし」
講話 Keiwa-sien 敬和学園大学人権グループ活動報告会
「性の多様性について考えよう」
- 19 大学入試センター試験 (~ 20 日)
- 22 英語文化コミュニケーション学科卒論発表会 (写真②)
- 25 チャペル・アッセンブリ・アワー②
説教 下田尾治郎 宗教部長「隠れた悪をこぼむために」
講話 青山良子 教授 最終講義「学生の皆さんに伝えたいこと」
- 26 共生社会学科全体報告会
- 29 教職課程報告会
- 30 AO 入学試験 (4 期) 面談日①
- 31 新年留学生交流もちつき大会



2 February

- 1 チャペル・アッセンブリ・アワー②
説教 山田耕太 学長「タンテ『神曲』と新発田・上館」
後期エッセイ・コンテスト授賞式
ケリー・ニューエル奨学金授与式
学生団体年度内表彰式
- 2 地域学発表会
- 3 後期講義終了
- 3 学業選抜特待生入学試験 (学力試験型 1 期)、一般入学試験 (A 日程)、
外国人留学生入学試験 (1 期) 試験日
- 4 後期末試験 (~ 9 日)
- 6 教授会
- 6 AO 入学試験 (4 期) 面談日②
- 7 理事会
- 8 学業選抜特待生入学試験 (学力試験型 1 期、センター利用型 1 期)、一
般入学試験 (A 日程)、センター利用入学試験 (1 期)、外国人留学生入
学試験 (1 期) 合格発表
春期休暇 (~ 4 月 3 日)
- 10 後期集中講義期間 (~ 3 月 1 日)
- 11 一般入学試験 (B 日程) 試験日
- 12 臨時教授会
- 13 一般入学試験 (B 日程)、AO 入学試験 (4 期) 合格発表
- 15 第 2 回入学前スクーリング (写真③)
「大学生活の目標とは」(学生 111 名、保護者 23 名)
- 18 国家試験対策講座集中講義 (~ 22 日)
- 19 教職インターンシップ最終報告会



3 March

- 20 後期末追試験 (~ 22 日)
FD・SD 研修会「特別な支援を必要とする学生への対応 ver.2018」
講師 長澤正樹 新潟大学教育学部教授、
同 教育・学生支援機構学生支援センター障がい学生支援部門長
- 27 臨時教授会
アクティブラーニング事例報告会
「熊本地震被災地の現地視察と今後のニーズ調査」
「京大の「多文化共生」に向けたイスラーム理解プロジェクト 2018」
「大阪市西成区釜ヶ崎での炊き出し支援活動及び調査」
- 1 学業選抜特待生入学試験 (センター利用型 2 期)、センター利用入学試験
(2 期) 合格発表
- 3 第 11 回「阿賀北ロマン賞」授賞式 (40 名) (写真④)
講演 和崎信哉 WOWOW 取締役相談役、和崎壽日 中部大学国際関係学部教授
「変わるもの、変わらないもの」
審査委員長 加藤宗哉 作家・元「三田文学」編集長
Keiwa HOPE 主催「チョコスタリカ in しばた」(155 名)
- 4 図書館蔵書整理 (~ 8 日)
学業選抜特待生入学試験 (学力試験型 2 期)、一般入学試験 (C 日程)、
外国人留学生入学試験 (2 期) 試験日
- 5 国際文化学科卒論発表会
- 6 教授会
- 8 学内合同企業説明会 (134 社、152 名) (写真⑤)
学業選抜特待生入学試験 (学力試験型 2 期)、一般入学試験 (C 日程)、
外国人留学生入学試験 (2 期) 合格発表
- 13 臨時教授会
- 20 推薦入学試験 (2 期) 試験日、AO 入学試験 (5 期) 面談日①②
- 22 第 25 回卒業式 (聖籠町市民会館) (写真⑥)
卒業記念パーティー (新潟グランドホテル)
学業選抜特待生入学試験 (センター利用型 3 期)、推薦入学試験 (2 期)、
AO 入学試験 (5 期)、センター利用入学試験 (3 期) 合格発表
- 26 理事会、評議員会
- 30 オープンキャンパス (88 名)
- 31 学年終わり



4 April

- 1 学年始め
- 4 入学式、保護者ガイダンス、後援会総会
- 8 健康診断 (~ 9 日)
- 9 履修相談日
- 10 前期講義開始
履修登録期間 (~ 22 日)
- 12 教授会
チャペル・アッセンブリ・アワー①
新生歓迎公開学術講演会
講師 小河隆 前関東学院院長
「AI 時代のリベラル・アーツ」
- 16 お花見ランチ
- 18 新生入オリエンテーション (月岡温泉ホテル泉慶、~ 19 日)
- 26 履修登録確認期間 (~ 5 月 10 日)
チャペル・アッセンブリ・アワー②
入学記念植樹礼拝 (クリノキ 1 本)
説教 山田耕太 学長「木には希望がある」
講話 新発田中央地域包括支援センター、新発田南地域包括支援センター
「認知症の方を知り、支えること」



5 May

- 8 教授会
- 10 チャペル・アッセンブリ・アワー③
ビデオ上映会『father』
講師 後藤文雄 カトリック吉祥寺教会共住司祭「今ここに」
- 17 チャペル・アッセンブリ・アワー④
説教 下田尾治郎 宗教部長「未来からの光の下で」
講話 エイキミナコ 絵本作家「自分を生きる」
- 18 英検 2 級・準 2 級一次・二次試験対策英語集中講座① (51 名)
- 24 チャペル・アッセンブリ・アワー⑤
説教 田中利光 教授「野の花から学ぶこと」
講話 松本淳准教授「アニメを知ることと世界を知ること」
- 27 理事会・評議員会
- 30 新発田市立立上中学校大学見学 (3 年生 17 名、教員 2 名)
- 31 チャペル・アッセンブリ・アワー⑥
説教 山崎ハコネ 准教授「力は弱っているときにこそ」
講話 堀野亘求 准教授「今日できることを明日にのぼす勇氣」

敬和学園財務状況等のご報告

学校法人敬和学園の財務状況を報告します。本学園の予算・決算は、法人本部・大学・高等学校の三部門で構成されていますが、紙面の都合上、法人全体と大学部門の数値および、大学部門の事業活動収支計算書の説明のみを記載しています。詳細をお知りになりたい方は、本学総務課までお問い合わせください。

●二〇一八年度事業報告

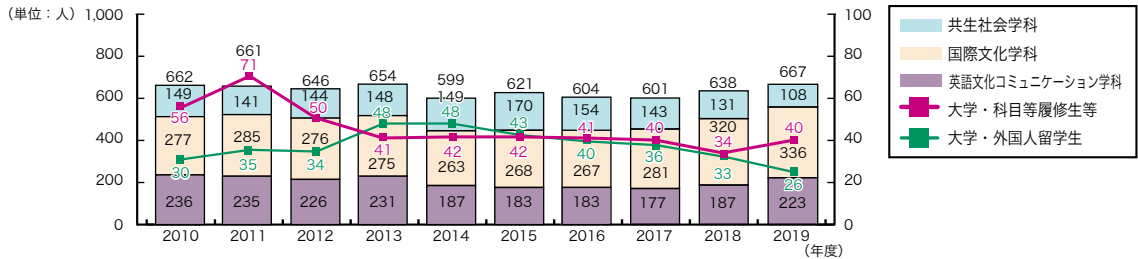
(一) 教学関連

副専攻的な「地域経営プログラム」は四年を終了して、初めて同プログラム修了者を輩出しました。

キリスト教主義に基づく「実践するリベラルアーツ教育」に相応しい人物育成のために二〇一六年度に「学生寮」を開寮し、三年目の本年度は三七名の寮生で寮運営をしました。学生寮は、同じく二〇一六年度に開館した隣接する「新発田市立図書館」を含めた複合施設「イクネスしばた」と共に、魅力的な施設となっています。また、前年度に引き続き、イクネスしばたと本学との共催イベントも複数回開催しました。

「まちの駅よろず『新発田学研究センター』（地域連携センター）」は、二〇一七年度末をもって、一一年余りに渡ったまちの駅としての役割を終え、研究機能は大学に、休憩所の機能は「まちカフェ・りんく」にそれぞれ移転しました。本年度は、学内の「地域連携センター」「学生寮」「まちカフェ・りんく」などの関係機関と連携して、多様なアクティブ

〈敬和学園大学学生の推移〉



〈(2018年度オープンカレッジ)〉

日程	演 題	講 師	参加者数
新発田市 オープンカレッジ (イクネスしばた)			
9月27日(木)	外国人から見る日本の魅力	アリス・ゴードンカー氏 (在日アメリカ人ジャーナリスト)	28
10月29日(月)	ソーシャルメディア時代の観光	井出 明氏 (金沢大学国際基幹教育院准教授)、 一戸 信哉 教授、房 文慧 教授	40
聖籠町 キッズ・カレッジ「子ども英語教室 英語で遊ぼう!」(聖籠町町民会館)			
6月30日(土)	英語で遊ぼう! (その1)	英語文化コミュニケーション学科学生	16
12月 8日(土)	英語で遊ぼう! (その2)		11
その他			
4月13日(金)	新入生歓迎公開学術講演会「リベラルアーツの知を生きる」	森本 あんり氏 (国際基督教大学副学長)	223
5月19日(土)	英検2級 一次・二次試験対策英語集中講座	大岩 彩子 講師	12
5月19日(土)	英検準2級 一次・二次試験対策英語集中講座	荒木 陽子 准教授	14
9月22日(土)	英検2級 一次・二次試験対策英語集中講座	主演 祐二 准教授	26
9月22日(土)	英検準2級 一次・二次試験対策英語集中講座	金山 愛子 教授	26
11月15日(木)	小和田恒生講演会「新潟と私」	小和田 恒氏 (国際司法裁判所 前所長)	232
3月 3日(日)	「阿賀北口マン賞」授賞式、講演会	和崎 信哉氏 (株式会社 WOWOW 取締役 相談役) 和崎 春日氏 (中部大学 国際関係学部 教授)	42

「基礎ゼミガイダンス」、後期入門演習時の「自己分析ガイダンス」、二次前期「就職ガイダンス」、後期「キャリア開発入門」、三次「キャリア開発」一、二と、入学から就職活動までの継続的な

た。就職を希望する学生を分母とした内定率が九八・二%となり、二〇一五年度以降四年連続で九五%を上回りました。キャリア教育に関しては、一年次前期「基礎ゼミガイダンス」、後期入門演習時の「自己分析ガイダンス」、二次前期「就職ガイダンス」、後期「キャリア開発入門」、三次「キャリア開発」一、二と、入学から就職活動までの継続的な

ラーニングによる「まちなかキャンパス化を目指して活動すると共に、「まちなかフェ・りんく」を中心として、さらなる地域貢献活動を行いました。この他、新潟大学を中心としたCO-CO+事業の参加校としての活動も継続し推進しました。英語文化コミュニケーション学科および国際文化学科の就職課程は、本年度に再課程認定申請をして認可を受け、二〇一九年度から新課程を開設します。さらに二〇一九年度から国際文化学科に「情報メディア・コース」を設け、三コース制から四コース制に移行するカリキュラムの策定をしました。共生社会学科も一部科目を新設しました。

また、二〇一五年度に「学生支援センター」を開所し、生活・学習・就職などにおいて困難を抱えている学生を支える仕組みを構築してきましたが、本年度はさらに相談員を増員して対応すると共に、学内外の諸機関とも連携して、組織的に学生を支援する体制を強化しました。

2018年度資金収支計算書及び2019年度同予算書（学校法人 敬和学園）

(収入の部)

(単位：円)

科 目	2018年度決算額	2019年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	994,905,579	1,042,117,000	△ 47,211,421
手数料収入	17,683,164	17,538,000	145,164
寄付金収入	38,502,269	39,207,000	△ 704,731
補助金収入	416,231,630	390,585,000	25,646,630
(国庫補助金収入)	127,635,938	111,628,000	16,007,938
(地方公共団体補助金収入)	288,595,692	278,957,000	9,638,692
資産売却収入	20,175,050	52,900,000	△ 32,724,950
付随事業・収益事業収入	95,041,076	81,618,000	13,423,076
受取利息・配当金収入	5,904,645	5,288,000	616,645
雑収入	54,728,040	26,133,000	28,595,040
借入金等収入	10,000,000	0	10,000,000
前受金収入	219,861,000	171,954,000	47,907,000
その他の収入	82,750,861	56,574,000	26,176,861
資金収入調整勘定	△ 265,887,969	△ 234,764,000	△ 31,123,969
前年度繰越支払資金	1,196,909,259	1,140,163,500	56,745,759
収入の部合計	2,886,804,604	2,789,313,500	97,491,104

(支出の部)

(単位：円)

科 目	2018年度決算額	2019年度予算額	差 異
人件費支出	1,120,254,037	1,083,602,000	36,652,037
教育研究経費支出	321,514,975	328,104,000	△ 6,589,025
管理経費支出	162,466,095	152,171,000	10,295,095
借入金等利息支出	2,522,147	2,354,000	168,147
借入金等返済支出	16,148,165	13,492,000	2,656,165
施設関係支出	47,834,270	22,304,000	25,530,270
設備関係支出	42,664,265	36,490,000	6,174,265
資産運用支出	27,464,103	52,045,000	△ 24,580,897
その他の支出	63,205,075	100,111,000	△ 36,905,925
予備費	0	2,000,000	△ 2,000,000
資金支出調整勘定	△ 93,772,985	△ 82,229,000	△ 11,543,985
翌年度繰越支払資金	1,176,504,457	1,078,869,500	97,634,957
支出の部合計	2,886,804,604	2,789,313,500	97,491,104

〈2018年度決算 事業活動収支計算書関係比率〉

※比率の高低の評価は次のとおり。

△高い値がよい ▼低い値がよい ～どちらともいえない

(%)

比率名・算出方法		法人全体	大学
人件費比率 ▼	人 件 費	70.1	64.9
	経 常 収 入		
人件費依存率 ▼	人 件 費	113.7	84.6
	学生生徒等納付金		
教育研究経費比率 △	教育研究経費	27.1	34.0
	経 常 収 入		
管理経費比率 ▼	管 理 経 費	13.0	12.6
	経 常 収 入		
借入金等利息比率 ▼	借入金等利息	0.2	0.0
	経 常 収 入		
事業活動収支差額比率 △	基本金組入前当年度収支差額	-9.8	-11.3
	事業活動収入		
基本金組入後収支比率 ▼	事業活動支出	114.3	114.2
	事業活動収入－基本金組入額		
学生生徒等納付金比率 ～	学生生徒等納付金	61.7	76.7
	経 常 収 入		
寄付金比率 △	寄 付 金	2.5	2.2
	事業活動収入		
經常寄付金比率 △	教育活動収支の寄付金	2.3	2.1
	経 常 収 入		
補助金比率 △	補 助 金	25.6	17.2
	事業活動収入		
經常補助金比率 △	教育活動収支の補助金	25.4	17.3
	経 常 収 入		
基本金組入率 △	基本金組入額	4.0	2.5
	事業活動収入		
減価償却額比率 ～	減 価 償 却 額	9.2	6.6
	経 常 支 出		
經常収支差額比率 △	經常収支差額	-10.5	-11.5
	経 常 収 入		
教育活動収支差額比率 △	教育活動収支差額	-10.7	-12.2
	教育活動収入計		

ポート体制の構築が完成しました。しかしながら、選択科目である「キャリア開発入門」「キャリア開発」は履修者数が二〇一七年度を下回ったため、その点が課題として残りました。また、就職支援講座の一貫として行っていた「秘書検定対策講座」を授業科目「ビジネスマナー講座（秘書検定対策）」としたことで、より多くの学生たち（前期七九名、後期五五名）に学ぶ機会を提供できました。今後は多くの学生にビジネスマナーを学んでもらうと共に秘書検定二級、準一級の資格取得についても奨励していきます。

●二〇一八年度決算

当年度収支差額は一億一、二四七万円の支出超過、基本金組入前当年度収支差額も九、二二一万円の支出超過となりました。当初予算と比較して、当年度収支差額は一、八三四万円、基本金組入前当年度収支差額は四、三四五万円、それぞれ支出超過額が増額となりました。

活動ごとの収支では、教育活動収支差額は九、八七七万円の支出超過、教育活動外収支差額は五〇〇万円の収入超過、特別収支差額は一五五万円の収入超過となりました。収入面では、学納金や寄付金は減額となりましたが、経常費補助金の増額や退職金団体交付金の計上もあり、収入総額は当初予算より六四九万円の削減を継続実施しましたが、退職金や

〈2018年度貸借対照表〉

2019年3月31日現在
〈学校法人 敬和学園〉

(単位：円)

科目	年度	科目	年度
	2018年度末		2018年度末
固定資産	4,363,556,745	固定負債	395,402,102
有形固定資産	3,889,675,829	長期借入金	150,262,626
土地	693,935,764	退職給与引当金	230,275,868
建物	2,576,556,448	長期未払金	14,863,608
構築物	23,517,441	流動負債	354,035,206
教育研究用機器備品	61,724,654	短期借入金	13,492,633
管理用機器備品	22,024,040	未払金	89,801,433
図書	493,156,759	前受金	219,861,000
車輛	18,760,723	修養会預り金	8,765,852
特定資産	21,601,182	預り金	20,722,787
退職給与引当特定資産	17,350,000	仮受金	1,391,501
施設拡充引当特定資産	4,251,182	負債の部合計	749,437,308
その他の固定資産	452,279,734	基本金	8,434,178,243
電話加入権	1,600,792	第1号 基本金	8,314,178,243
施設利用権	226,614	第4号 基本金	120,000,000
ソフトウェア	7,283,461	繰越収支差額	△3,247,175,310
有価証券	403,204,607	翌年度繰越収支差額	△3,247,175,310
長期貸付金	2,840,000	純資産の部合計	5,187,002,933
出資金	1,925,500		
長期預け金	35,198,760		
流動資産	1,572,883,496		
現金預金	1,176,504,457		
未収入金	59,163,352		
有価証券	330,941,960		
前払金	4,390,130		
立替金	624,823		
仮払金	1,258,774		
資産の部合計	5,936,440,241	負債及び純資産の部合計	5,936,440,241

2018年度事業活動収支計算書及び2019年度同予算書（学校法人 敬和学園）

(単位：円)

	2018年度決算額	2019年度予算額	差 異	
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	994,905,579	1,042,117,000	△ 47,211,421
	手数料	17,683,164	17,538,000	145,164
	寄付金	37,402,087	34,207,000	3,195,087
	経常費等補助金	409,946,631	389,285,000	20,661,631
	付随事業収入	95,041,076	81,618,000	13,423,076
	雑収入	52,781,740	26,133,000	26,648,740
	教育活動収入計	1,607,760,277	1,590,898,000	16,862,277
	支出			
	人件費	1,131,401,339	1,096,259,000	35,142,339
教育研究経費	437,837,245	447,371,000	△ 9,533,755	
管理経費	209,950,414	200,375,000	9,575,414	
徴収不能額等	721,050	0	721,050	
教育活動支出計	1,779,910,048	1,744,005,000	35,905,048	
教育活動収支差額	△ 172,149,771	△ 153,107,000	△ 19,042,771	
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	5,904,645	5,288,000	616,645
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	5,904,645	5,288,000	616,645
	支出			
	借入金等利息	2,522,147	2,354,000	168,147
	その他の教育活動外支出	7,302	0	7,302
教育活動外支出計	2,529,449	2,354,000	175,449	
教育活動外収支差額	3,375,196	2,934,000	441,196	
経常収支差額	△ 168,774,575	△ 150,173,000	△ 18,601,575	
特別収支	収入			
	資産売却差額	179,049	900,000	△ 720,951
	その他の特別収入	10,902,534	6,800,000	4,102,534
	特別収入計	11,081,583	7,700,000	3,381,583
	支出			
	資産処分差額	1,505,848	200,000	1,305,848
	その他の特別支出	30,450	0	30,450
特別支出計	1,536,298	200,000	1,336,298	
特別収支差額	9,545,285	7,500,000	2,045,285	
(予備費)	0	2,000,000	△ 2,000,000	
基本金組入前当年度収支差額	△ 159,229,290	△ 144,673,000	△ 14,556,290	
基本金組入額合計	△ 64,499,109	△ 39,342,000	△ 25,157,109	
当年度収支差額	△ 223,728,399	△ 184,015,000	△ 39,713,399	
前年度繰越収支差額	△ 3,023,446,911	△ 3,273,436,899	249,989,988	
翌年度繰越収支差額	△ 3,247,175,310	△ 3,457,451,899	210,276,589	
(参考)				
事業活動収入計	1,624,746,505	1,603,886,000	20,860,505	
事業活動支出計	1,783,975,795	1,748,559,000	35,416,795	

急を要する修繕工事の計上、奨学費の増額などがあり、支出総額は当初予算より四、九九五万円の増額となりました。施設設備については、コンピュータ教室のパソコン入れ替え、教室空調機器取り替え、教務システム機器入れ替えなどを計画どおり実施し、教育環境の整備・充実をすすめることができました。

●二〇一九年度当初予算
当年度収支差額は六、九七一万円の支出超過、基本金組入前当年度収支差額も六、四〇三万円の支出超過となりました。活動ごとの収支では、教育活動収支差額は七、〇八八万円の支出超過、教育活動外収支差額は四五四万円の収入超過、特別収支差額は四三〇万円の収入超過となりました。収入は、学生数増加に伴い学納金の増収が見込まれ、総額で前年度決算より四、四九八万円の増額となりました。支出は、前年度に続き経費削減を盛り込みましたが、人件費や奨学費などの増加により、総額は前年より一、六七九万円の増額となりました。教育環境の整備として、図書館パソコン入れ替え、証明書自動発行機入れ替え、教室冷暖房設備入れ替えなどを予定しています。基本金組入前当年度収支差額の支出超過は前年度決算と比較して二、一八八万円減額していますが、執行にあたり、予算の枠内で収まるように努め、決算では収支改善を図っていきます。

(事務局)

2018年度事業活動収支計算書及び2019年度同予算書(敬和学園大学)

(単位:円)

		2018年度決算額	2019年度予算額	差 異
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	622,485,000	673,190,000	△ 50,705,000
	手数料	12,738,964	11,550,000	△ 1,188,964
	寄付金	17,334,245	14,207,000	△ 3,127,245
	経常費等補助金	140,286,050	124,178,000	△ 16,108,050
	付随事業収入	2,231,249	3,608,000	△ 1,376,751
	雑収入	11,979,156	24,128,000	△ 12,148,844
	教育活動収入計	807,054,664	850,861,000	△ 43,806,336
	支出			
	人件費	526,870,354	548,889,000	△ 22,018,646
教育研究経費	276,214,651	283,291,000	△ 7,076,349	
管理経費	102,394,197	89,562,000	△ 12,832,197	
徴収不能額等	350,000	0	△ 350,000	
教育活動支出計	905,829,202	921,742,000	△ 15,912,798	
教育活動収支差額	△ 98,774,538	△ 70,881,000	△ 27,893,538	
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	5,012,627	4,548,000	△ 464,627
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	5,012,627	4,548,000	△ 464,627
	支出			
	借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	7,302	0	△ 7,302	
教育活動外支出計	7,302	0	△ 7,302	
教育活動外収支差額	5,005,325	4,548,000	△ 457,325	
経常収支差額	△ 93,769,213	△ 66,333,000	△ 27,436,213	
特別収支	収入			
	資産売却差額	5,500	0	△ 5,500
	その他の特別収入	2,853,151	4,500,000	△ 1,646,849
	特別収入計	2,858,651	4,500,000	△ 1,641,349
	支出			
	資産処分差額	1,278,523	200,000	△ 1,078,523
	その他の特別支出	30,000	0	△ 30,000
	特別支出計	1,308,523	200,000	△ 1,108,523
	特別収支差額	1,550,128	4,300,000	△ 2,749,872
	(予備費)	0	2,000,000	△ 2,000,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 92,219,085	△ 64,033,000	△ 28,186,085	
基本金組入額合計	△ 20,256,783	△ 5,678,000	△ 14,578,783	
当年度収支差額	△ 112,475,868	△ 69,711,000	△ 42,764,868	
前年度繰越収支差額	△ 314,198,825	△ 445,682,825	△ 131,484,000	
翌年度繰越収支差額	△ 426,674,693	△ 515,393,825	△ 88,719,132	
(参考)				
事業活動収入計	814,925,942	859,909,000	△ 44,983,058	
事業活動支出計	907,145,027	923,942,000	△ 16,796,973	

2018年度資金収支計算書及び2019年度同予算書(敬和学園大学)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	2018年度決算額	2019年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	622,485,000	673,190,000	△ 50,705,000
手数料収入	12,738,964	11,550,000	△ 1,188,964
寄付金収入	17,234,427	18,207,000	△ 972,573
補助金収入	140,286,050	124,178,000	△ 16,108,050
(国庫補助金収入)	127,635,938	111,628,000	△ 16,007,938
(地方公共団体補助金収入)	12,650,112	12,550,000	△ 100,112
資産売却収入	5,500	0	△ 5,500
付随事業・収益事業収入	2,231,249	3,608,000	△ 1,376,751
受取利息・配当金収入	5,012,627	4,548,000	△ 464,627
雑収入	13,925,456	24,128,000	△ 10,202,544
前受金収入	188,007,000	135,900,000	△ 52,107,000
その他の収入	263,024,631	12,821,000	△ 250,203,631
資金収入調整勘定	△ 182,107,156	△ 189,435,000	△ 7,327,844
前年度繰越支払資金	859,572,500	799,150,500	△ 60,422,000
収入の部合計	1,942,416,248	1,617,845,500	△ 324,570,748

(支出の部)

(単位:円)

科 目	2018年度決算額	2019年度予算額	差 異
人件費支出	516,650,588	538,896,000	△ 22,245,412
教育研究経費支出	225,971,784	228,446,000	△ 2,474,216
管理経費支出	92,447,089	79,067,000	△ 13,380,089
施設関係支出	30,669,838	11,949,000	△ 18,720,838
設備関係支出	22,962,913	28,142,000	△ 5,179,087
資産運用支出	7,394,972	45,000	△ 7,349,972
その他の支出	252,302,086	66,083,000	△ 186,219,086
予備費	0	2,000,000	△ 2,000,000
資金支出調整勘定	△ 32,723,762	△ 60,393,000	△ 27,669,238
翌年度繰越支払資金	826,740,740	723,610,500	△ 103,130,240
支出の部合計	1,942,416,248	1,617,845,500	△ 324,570,748

Gems in KEIWA

チャレンジ学生ファイル Vol.60

目的を明確にすることの大切さ

国際文化学科 3年
高橋 幸成



ゼミの仲間と映像作品の編集（中央が高橋さん）

一戸信哉先生のコメント

ゼミでは、地域を題材にした映像制作、インターネット番組の配信、高校でのワークショップなど、情報メディアに関するさまざまな活動を行っています。高橋さんは、活動に参加するだけでなく、計画・調整や後輩の指導も幅広く担当し、責任感と行動力を持って、ゼミの要として活躍しています。

今後は、自ら計画し、調査・取材をして、社会的意義の高い作品づくりにチャレンジして欲しいです。



私は一戸ゼミに所属し、情報メディアについて深く学び、その実践活動として、映像作品の制作やインターネット番組「Keiwa Lunch」の配信などに取り組んでいます。

ゼミに入った理由は、「楽しそうだから」ただそれだけです。自分が興味を持つことに取り組む中で、技術だけでなく、人との関わり方も向上しました。

ゼミ活動を通じて特に学んだことは、「目的を明確にして行動することの大切さ」です。情報を伝えるには、自分がまず「何を伝えたいのか」を明確にしなければなりません。それをしないでただなんとなく撮影していると編集の時に素材不足に陥ります。また、ゼミの幹事としてスケジュールを管理したり、ゼミ全体に情報を流したりもしています。伝える、コミュニケーションをとることの大切さは、こちらでも実感でき、大変さと共にやりがいを感じています。

一戸ゼミに入ってよかったです。これからも他学年とのつながりを大切にしながら活動に取り組んでいきたいです。



敬和学園大学の最新情報

敬和学園大学

検索

www.keiwa-c.ac.jp

